

**車載通信機器事業の国内ロジスティクス体制強化
中部地区に「新・ロジスティクス拠点」設立、本格稼働**

株式会社 ヨコオ
東京都北区滝野川 7-5-11
TEL:03-3916-3111(代表)

■要 旨

(株)ヨコオは、車載通信機器事業における国内ロジスティクス体制強化のため、愛知県安城市に中部地区以西の顧客向けの新ロジスティクス拠点を設立しました。

・拠点名称：『ヨコオVCCS中部ロジスティクスセンター』

■従来までの状況

当社の車載通信機器事業では、グループ子会社で中国広東省東莞市にある中国工場（東莞友華汽车配件有限公司）をメイン工場として、車載アンテナおよび関連製品の生産を行っており、その70%以上を日本国内顧客向けに輸出しています。これまでは通関後、先ず群馬県富岡市にある富岡工場にて受入れを行い、品質検査・詰め替えの後、日本各地の顧客へ輸送・納入する体制をとってきました。

■当社の計画と取り組み概要

近年、中部地区以西の顧客向け納入量が増加してきており、ロジスティクス体制の効率化を検討した結果、新拠点の設立を決定し、稼働準備を進めてきたもので、今回の新体制では、製品は中国工場から名古屋港を経て直接新拠点に輸送されるため、これまでの富岡工場経由と比較しリードタイムの短縮が図れます。

また、顧客への納入品質確保のため、新拠点では富岡工場と同等の検査設備・機能を備えて出荷品検査を実施します。これにより、Q（品質）・C（コスト）・D（デリバリー）の各能力向上を図るとともに、顧客により近い距離に拠点展開することで、対応スピードの向上に繋げる計画です。

既に5月より特定製品については新拠点からの納入を開始し、順次対象製品の展開を進めて、8月中に中部地区以西における全顧客向けの全製品のロジスティクス体制の切り替えを完了しました。

当件は、当社が現在進めている全社収益構造革新計画の1つとして取り組んでいるサプライチェーン変革の一環であり、また、車輛輸送距離を短縮することにより二酸化炭素（CO₂）排出量削減に繋がられ、環境面における社会的貢献も期待しています。

（CO₂排出量：従来より約47%削減見込み）

以上

★本件に関するお問い合わせ先
VCCS事業部
TEL:03-3916-3117